



# 開発合宿・オフサイトミーティング受入実績

個人のワーケーションや家族連れワーケーション(バケーション的なもの) をのぞく

4月~7月 / 9~11月の合計7ヶ月

緊急事態宣言で  
キャンセル  
100名以上

52人

令和2年度

31組 172人

令和3年度

31組  
319人

452人泊

令和4年度

33組

503人

769人泊

令和5年度

35組

298人

528人泊

令和6年度

コロナ禍

5類移行後

# 本年度の取り組み

町の事業を受託させていただき、立科 WORK TRIPの  
カンファレンスを実施させていただきました。

北は茨城、南は宮崎県等、全国から集まったワーケーション界隈の方々  
地域の観光事業者に対してこの取り組みの重要性を訴求できた。

- ・ 日時：令和6年11月19日(火) 13:30～15:50
- ・ 会場：池の平ホテル コンベンションホール「アカシア」
- ・ イベントタイトル：「立科Work trip – Lakeside MEETING」
- ・ 参加募集人数：50名 → 実参加65名（4名欠席）
- ・ 運営・告知：共立プランニング（再委託）



# 本年度の取り組み

同じく町の受託事業として

- ・立科に来訪する誘引となるコンテンツづくり
- ・1泊から2泊への滞在増への取り組み
- ・訪れるワーケターと地域事業者との交流を目的とし

越境学習プログラムをR5年度より造成

R5年度に造成した3件の磨き上げと  
高原エリアでの新規造成を行った

耕作放棄地を次々と  
畑に変える若手農家

俺が作っているのは農作物ではない!  
この町に「あるべき景色」だ!

農家 **関陽一**



地域課題である  
空き家問題に  
取り組む

建築家

**永田賢一郎**

地域の課題×自社リソースを使った解決案を提案

**ミニアイデアソン**



空き家活用の  
ビジネス案

参加企業の  
リソースを  
使って  
解決案提示

テレビ業界からワイナリーに転職  
シードル作りに情熱注ぐ  
お酒飲まない人なのに?

ワイナリー支配人

**市川 大樹**



R5年度造成した越境学習は全て里エリアにあり、ワークと宿泊の中心となる高原エリアから移動時間がかかってしまうため到着日と帰着日の設定しか現実的ではなかった。そこでLakeofficeから徒歩圏内でいけるマーガレットリフレクパークで造成橋詰氏の徹底した品質管理、勝てる分野を徹底的に磨くという仕事の取り組み、また誰もがやったことのないアーチェリーを用いた仕事の伝達方法の難しさ、やり方を改めて気づかせる伝言アーチェリーが好評であった。

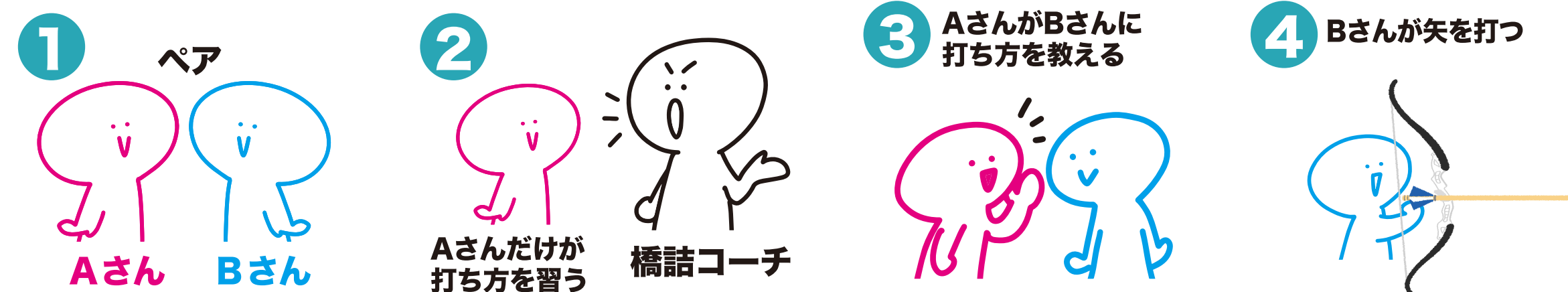
# 徹底した品質管理 勝てる分野を 徹底的に磨く

屋外複合アクティビティパーク支配人

# 橋詰 克己

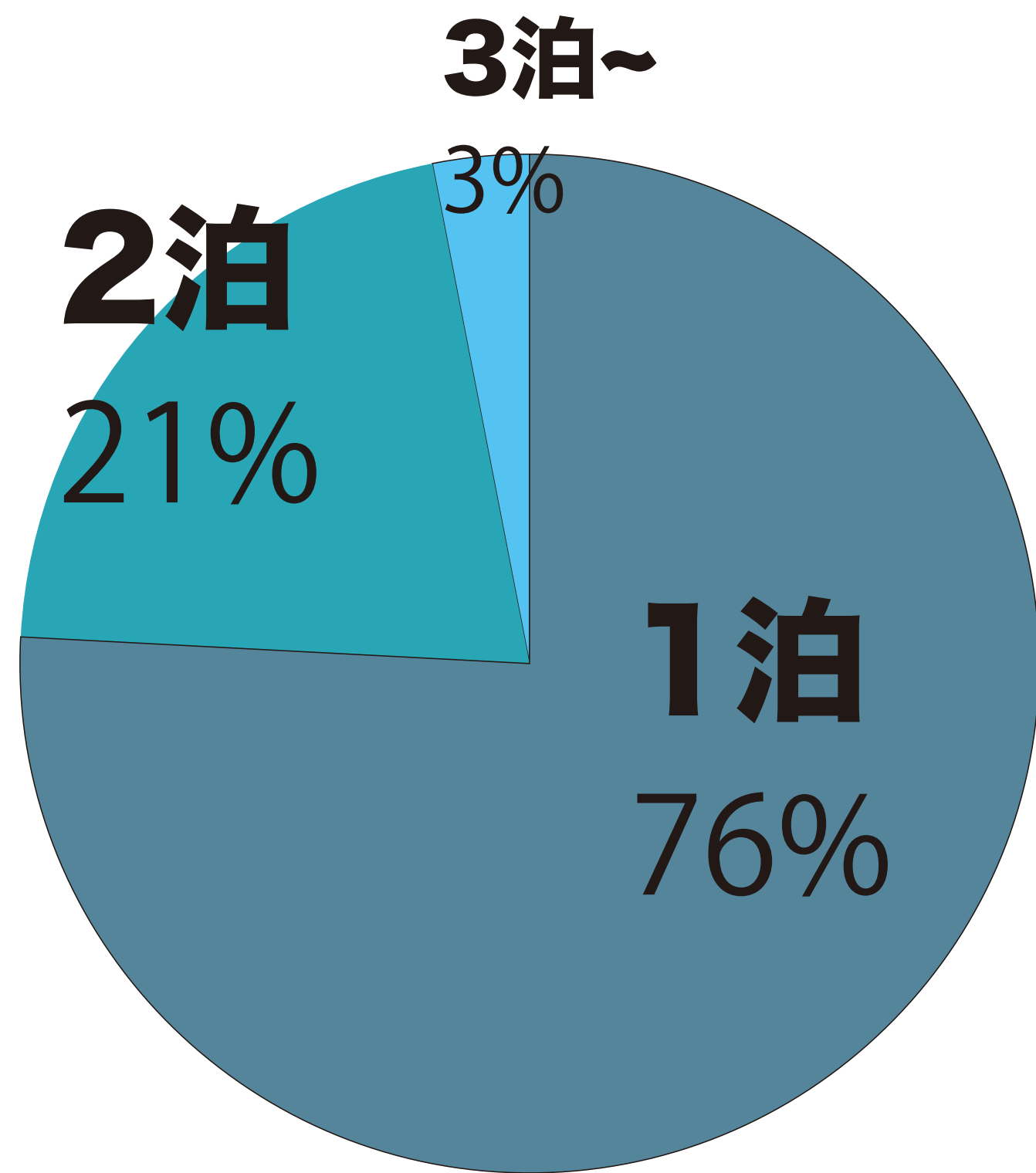


人から聞いたことを完全に理解し  
他人に教えきることの難しさ・大切さを学ぶ  
伝言アーチェリー

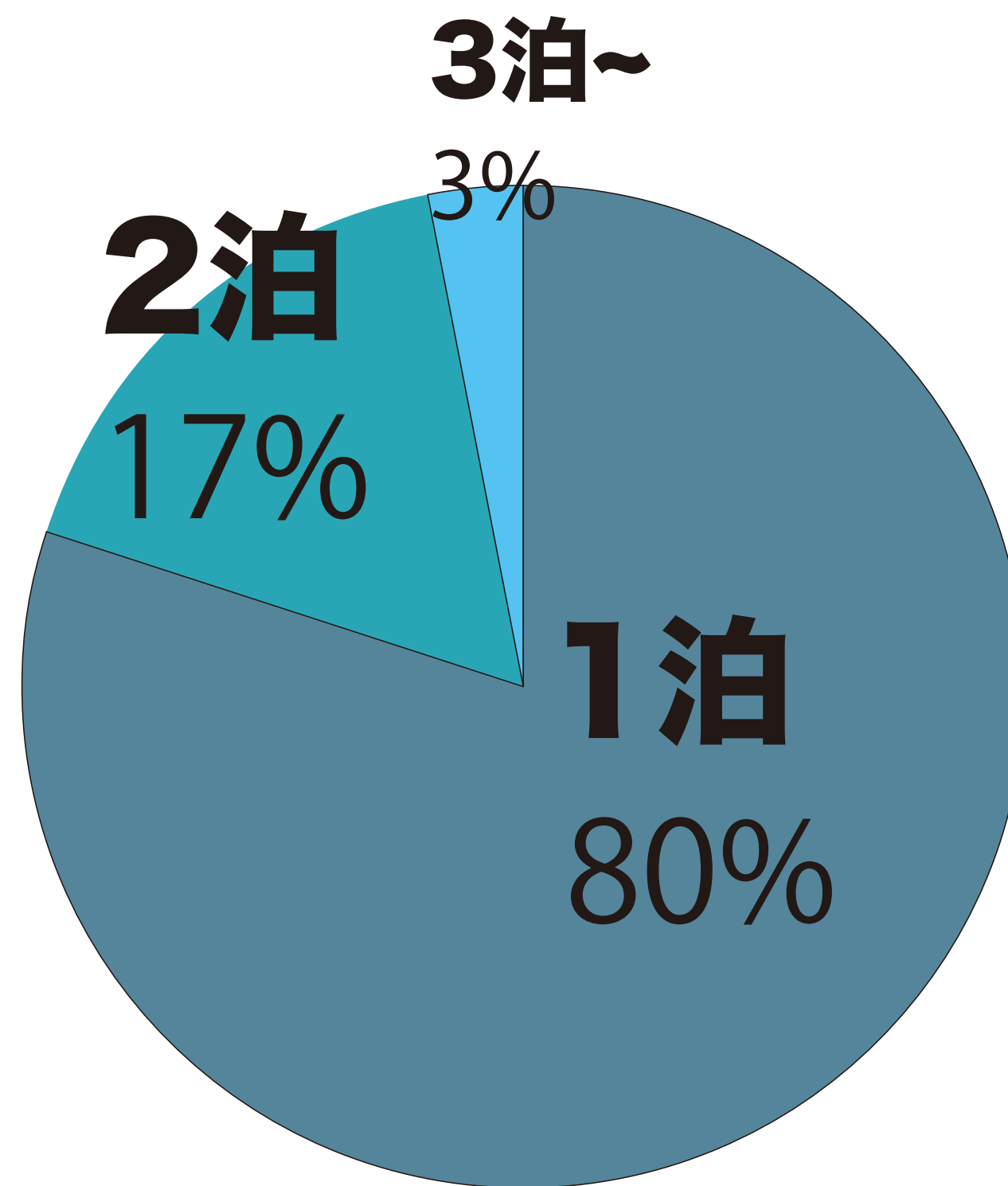


# 1回あたりの宿泊数の増加

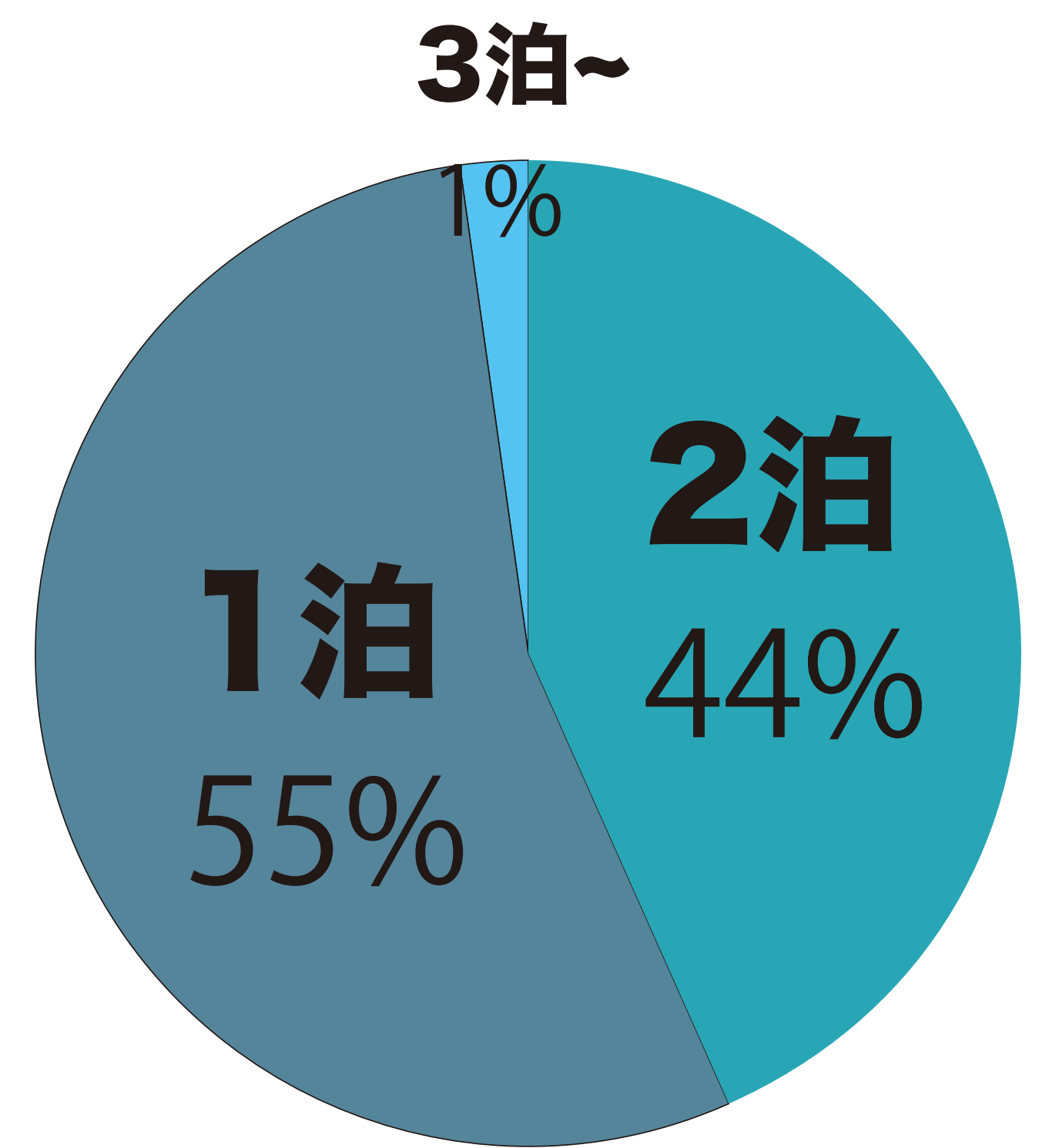
越境学習プログラムの造成が泊数の増加に確実に寄与している



R4年度



R5年度



R6年度

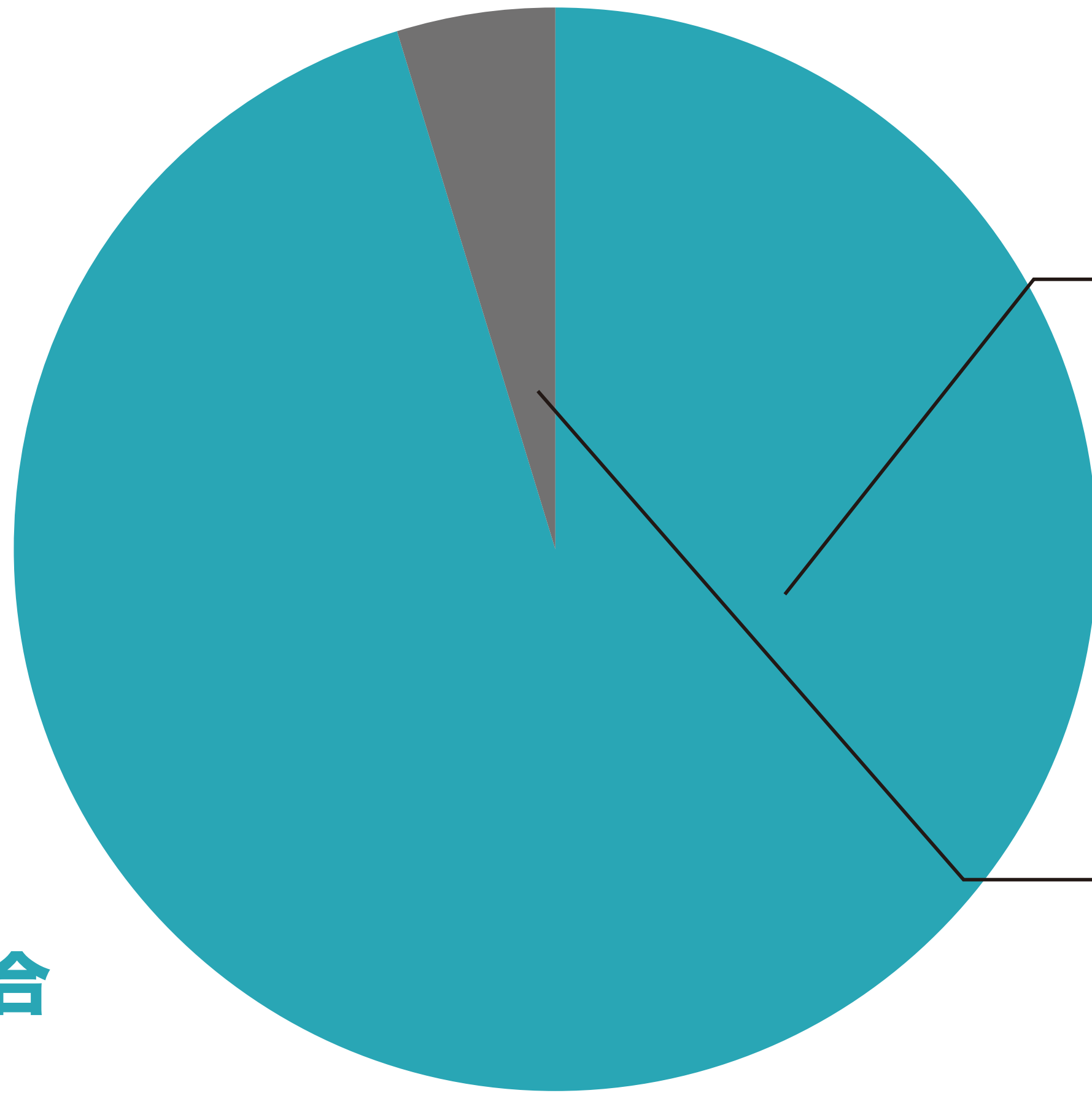
# ワーケーションシヨンがきっかけで 初めて立科町に来た(知った)

立科**初**来訪

95.4%

立科**再**来訪

4.6%



来訪者別割合

2022年4月～

2024年11月 N=803人

# ワーケーションきっかけでのMICE

**某国立大学研究**

**某国立研究機関の**

**MICEが4年連続開催**

**この参加者の中から他のMICEの  
話も浮上**



# 観光庁ブースとして商談会への参加

10月2日の幕張メッセで出会った神奈川の企業3名がLakesideMEETINGに参加

12月20日の大阪会場で会った企業とも商談中

また、商談会に積極的に参加することでの観光庁、JTBと結びつき強化

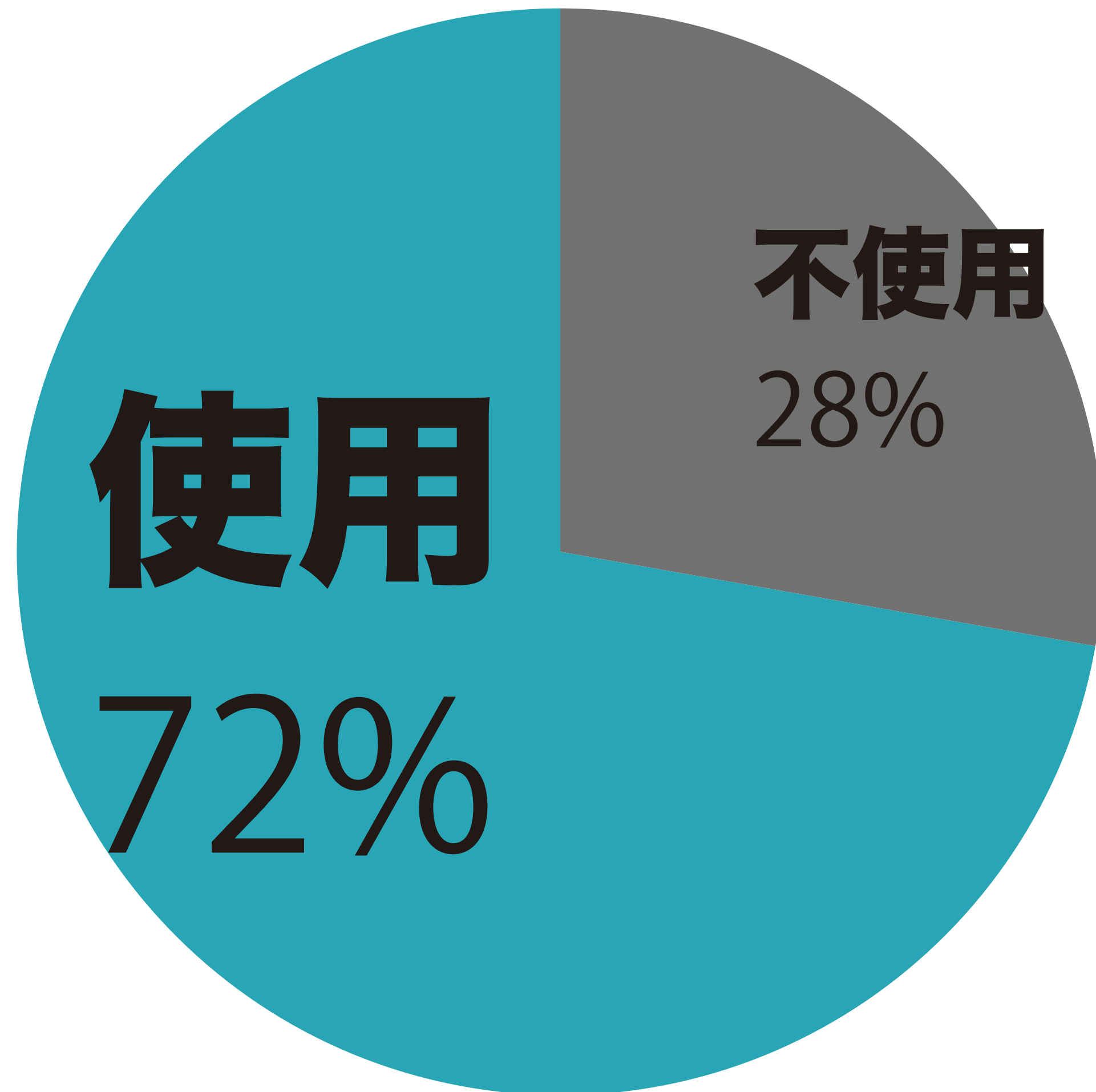


**10月2日 幕張メッセ**

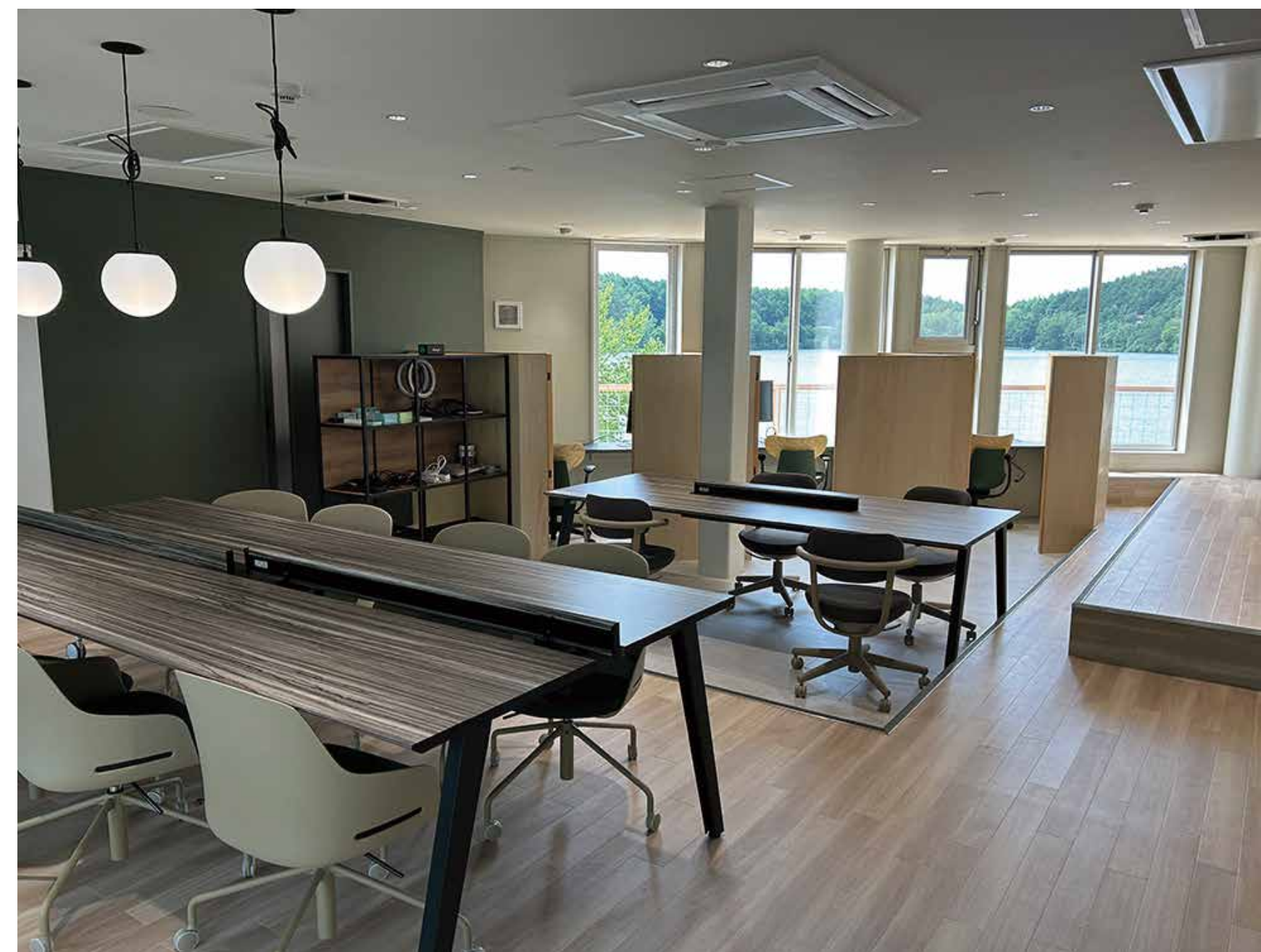
**12月20日 インテック大阪**

**2月26日、27日 幕張メッセ**

# 立科WORKTRIPでの Lakeoffice女神湖使用率



町の事業を受託させていただき、lakeoffice女神湖のwebサイトを作成  
宿泊を伴わない利用、またはスキー旅行中での急な仕事対応等に  
利用してもらっている(ドロップイン利用65名 91回)



# 日本ワーケーション協会がコンシェルジュアワードを初開催 Top of ザ・ワーケーションコンシェルジュは長野県立科町の渡邊岳志氏が受賞 法人型ワーケーションコーディネート部門のW受賞

一般社団法人日本ワーケーション協会（本部：京都市中京区、代表理事：入江真太郎）では、2021年5月より、ワーケーション普及ならびにリモートワークやワーケーションが、次世代のワーク&ライフスタイルに定着することを目指すため、公認ワーケーションコンシェルジュ制度を設計しました。皆さんと共に、ここまで活動を行って参りました。全国で活躍してきた公認ワーケーションコンシェルジュを、実績に応じて表彰する機会を設けました。

この度、2024年8月23日に日本ワーケーション協会・京都協会本部のあるQUESTION（京都市中京区）にて、初のワーケーションコンシェルジュアワード2024を開催し、各部門の受賞者を決定致しました。なお、投票は日本ワーケーション協会の会員ならびに関係者により事前投票・当日投票にて実施、得票率が高い者が受賞者と致しました。



2024年8月23日に京都市内で初の公認ワーケーションコンシェルジュの活動を表彰する、アワードを実施した



# 企業版第2のふるさとづくりモデル実証事業への申請検討

地域と企業の結びつきを強

固なものとし継続的な来訪に繋げるため、『企業と地域の関係人口化』の促進に繋がるプログラムを『企業版第2のふるさとづくり』として、企業をターゲットとした地域交流型の新たなプログラムの造成を目指す。

リピートの多い、三共鋼業、パーソルグループと一緒に申請できないか検討中